大月人物伝 歴史探訪

イタリア・ファエンツァ市 世界遺産にて個展開催 大塚　茂吉

私が大塚さんのテラコッタ作品を拝見したのは、彼が一九九九年にイタリアでの陶芸制作に、一応のピリオドを打って、帰国し同じテラコッタ作家のアルド・ロンティーニさんと、草月美術館（東京）での展覧会が最初でした。

大塚さんの作品から受けた印象は非常に強いもので、人間のもつ美への憧れをこのような形で創り出す作家は、山梨は疎か東京といえども出会うことは非常に少ないと思います。

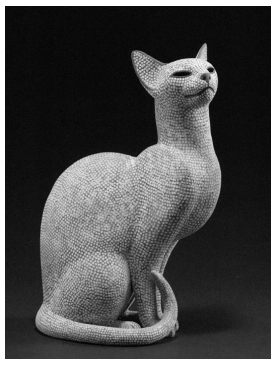
彼の作品には人間の内面にある美への限り無い追及の中で、不必要なものが削ぎ落とされ、非日常的ともいえる。フォルムの中に彫刻のもつ、するどい稜線と、テラコッタの温雅な色調や質感が観る人の心に感動や癒しとなって伝わっています。

彼が日頃大切にしている言葉に、「内なる微笑み」があります。今後発表されていくテラコッタ作品は、未来に向けて限りなく微笑み続けるものと信じています。

大塚茂吉さんは今春、四月十九日より五月七日迄、長坂町にある峠の画廊『歩らり里』に於いて個展を開催致します。

この時季は、清春美術館を含めて周辺は桜の満開の時であり、多くの人々に美しい自然と共に、大塚茂吉・テラコッタ展を楽しんで頂きたいと願っております。

執筆者　仁科　義民



大塚茂吉さんの作品

«Nell'incontro delle arti c'è un messaggio per tutti»

L'artista Otsuka spiega la mostra che apre al Mic

SPETTACOLO

Scultura, musica, teatro per esprimere la filosofia del 'Sorriso interiore'

I SERVIZI SONO GIÀ ESPOSTI IN MOLTI NEGOZI E NELLA SEDE DEI RIONI

Ecco i 'gotti' aspettando la 'Nott de Bisò'

Faenza. Mostra-performance teatrale e musicale il 7 dicembre con l'artista giapponese e il musicista Rodolfo Santadrea

"Sorrisi interiori" con Mokichi Otsuka

Il maestro presenterà al Mic quattro opere in terracotta realizzate in terra manfreda

Il 'Sorriso interiore' illuminerà il Mic

Tre eventi con musica, teatro, poesia per presentare le opere di Mokichi Otsuka

PROGRAMMA

Doppia anteprima Poi le sculture saranno svelate

ALBUM

CALLIGRAFI

Corriere di Ravenna Faenza-Lugo e Imola

«Proscioltа ma pericolosa»

Sei anni di ospedale psichiatrico per la giovane badante

現地の新聞記事

大月市七保町在住のテラコッタ作家、大塚茂吉さんが、2011年12月7日から5日間、イタリアの陶芸の町ファエンツァ市にある、ユネスコ世界遺産に認定された「**ファエンツァ国際陶芸美術館MIC**」にて個展を開催しました。

初日の12月7日は、「**Sorriso　Interiore　(”内なる微笑み”)**」と題して、大塚さんの作品を中心に、音楽家、舞踏家、役者とともにイベントが行われ、400人以上の客員数で大盛況でした。その様子は、地元メディアでも数社によって取り上げられ、一躍ファエンツァ市の時の人となりました。

大塚さんは、1994年から1999年の5年間ファエンツァ市に在住し、陶芸、特にテラコッタの造形を学び、独自の世界を切り開いて活動してきました。1999年秋から大月を拠点にして制作をしていますが、再び、2006年からは毎年３カ月ファエンツァ市で制作と発表を続け、その間、その真摯で精力的な活動に対してファエンツァ市より感謝状も授与されました。又、イタリア各地でも個展を開催しています。

今回の展示でも、テラコッタ特有の暖かく明るい光と深淵な微笑みを持った女性像や、神秘を感じさせる猫の像は、多くのイタリア人の共感を得ました。

この混沌とした時代に、新たなる希望を作品に込めて、ここ大月から世界へと発信し続ける大塚さんに、エールを送ろうではありませんか。